2025年7月30日

各　位

会 社 名 株式会社ノバレーゼ
代表者名 代表取締役社長　荻野　洋基
（コード：9160、東証スタンダード市場）
問合せ先 取締役執行役員経営戦略本部長　増山　晃年
（TEL. 03-5524-3344）

# 新規出店に関するお知らせ

当社は、宮城県の「旧知事公館活用事業」に対し企画提案を行った結果、当社が事業実施候補者として選定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

## １．出店の概要

宮城県は、知事公館について、賓客接遇等の公務利用が減少し、老朽化に伴う維持管理費が増大していること等から、用途廃止後の知事公館の土地や建物などを県から借り受け、その特色を生かし、応募者自らが集客施設等として活用する企画提案を、今年３月から募集しておりました。

この度、当該公募で当社が提案した企画提案内容が、庁外有識者を含む事業実施候補者選定委員会において審査され、当社が事業実施候補者として選定されました。

宮城県仙台市内への出店は、2024 年７月開業のゲストハウス「青龍荘」（仙台市青葉区）に続き２店舗目です。ゲストハウス「青龍荘」における集客および受注状況が堅調に推移していることを踏まえ、当該出店についても一定の需要が見込まれるものと判断しております。

知事公館のルーツは、元禄８年（1695 年）第四代仙台藩主伊達綱村の家臣が、藩主の命により邸宅を現在の知事公館の地に建築した時代までさかのぼります。その後、私塾や第二師団長官舎、県児童会館等、その時代に応じた用途に利用されてきました。

また、知事公館の正門は、大正９年（1920 年）に取り壊されたとされる仙台城の中門（寅門）の部材を使用して移築したものといわれ、仙台城の面影を伝える数少ない遺構の一つとされています。

本事業では、知事公館の外観および県指定有形文化財の正門はそのまま残し、定休日を除いて通年開放する予定です。また、知事公館の歴史的・文化的価値を最大限に活かしつつ、「杜と水の迎賓館」をデザインコンセプトとし、敷地内に結婚式や季節のイベント、県民の皆様の発表の場等でご利用いただける施設を新築することで、多様な人が集い、にぎわいを生み出す空間を創出いたします。

## ２．店舗の概要

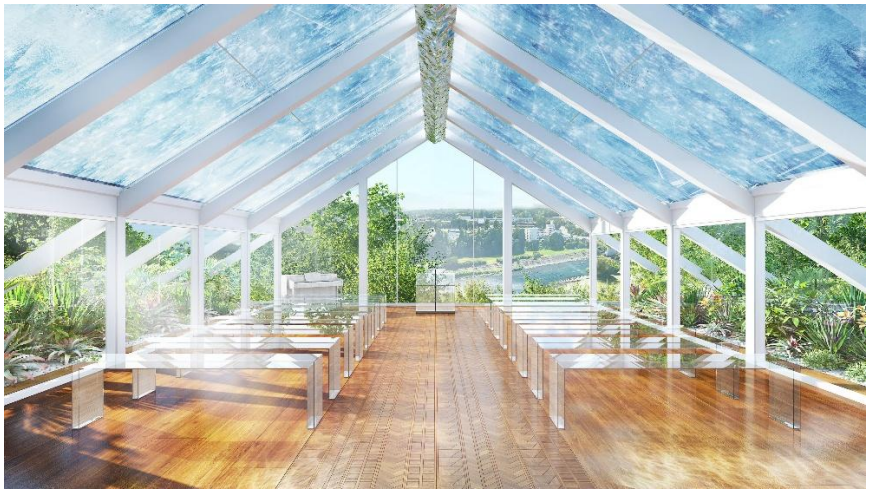
（１）施設名　　（仮称）旧知事公館
（２）設備　　イベントホール、ミュージックホール、ガーデン等
（３）所在地　　宮城県仙台市青葉区広瀬町 176 番
（４）土地面積　4,753.14 ㎡
（５）開業時期　2027 年９月（予定）

## ３．今後の見通し

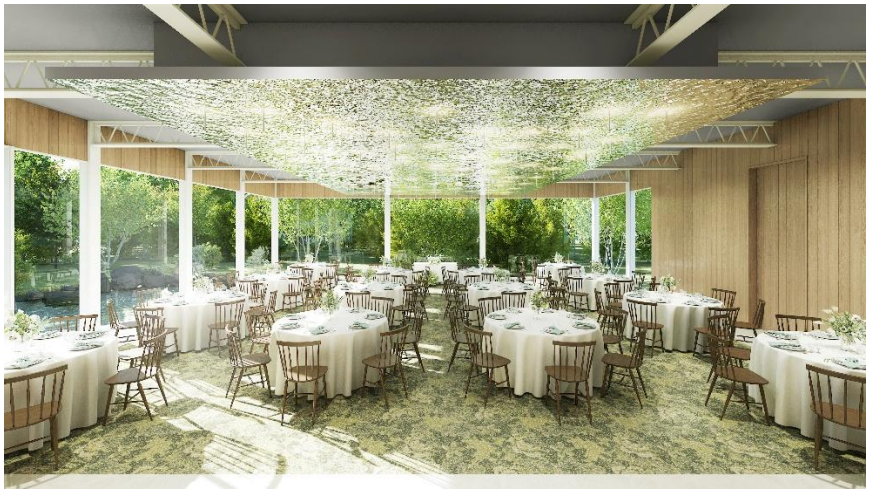
当該店舗の出店が当期連結業績に与える影響は軽微であります。今後、業績に与える影響が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

（ご参考）施設イメージ



上図：ミュージックホール　施設イメージ



上図：イベントホール　施設イメージ